

地域と学校の連携に関する道教委の取組

1 地域住民等が学校を支援する活動

【コミュニティ・スクール】(H16～)

<内容>

- 教育委員会が、保護者や地域住民が学校運営に参画する「学校運営協議会」を設置することにより、コミュニティ・スクールとなる。

<目標>

- 【北海道教育推進計画】
- ・ H29までに公立小中の10% (約140校) を指定
- 【国～第2期教育振興基本計画】
- ・ H29までに全公立小中の1割(3,000校) を指定

<取組>

- H27.4.1 CS指定状況
- 【北海道】
- ・ 小25校 中10校
- ・ 小中合計35校 (2.5%)
- 【全国】
- ・ 小中合計2,271校 (7.6%)

- 文科省「コミュニティ・スクール導入促進事業」を活用した導入準備 (小23校、中15校)

活用することができる

【関連する取組】

【学校評議員制度】(H12～)

- 設置者の定めるところにより、校長の求めに応じ、学校運営に関し意見を述べるができる「学校評議員」を置くことができる。
- <学校評議員の設置状況>
H24 小82.6% 中86.2%

【学校評価制度】(H14～)

- 保護者、地域住民等の学校関係者等により構成された評価委員会等が、各学校の教職員が行う自己評価の結果について評価する「学校関係者評価」を行う。
- <学校関係者評価の実施>
H24 小98.0% 中98.5%

【学校支援地域本部】(H20～)

- 地域住民等の参画により、学校の教育活動を支援する仕組み(本部)をつくり、様々な学校支援活動を実施

<H26取組>

- ・ 124市町村で実施

2 その他、地域住民が子どもの育成を支える仕組み

【子ども未来塾】(H27～)

- 学校支援地域本部事業を活用し、学習が遅れがちな小・中学生を対象とした地域住民による学習支援

<H27取組>

- ・ 30市町村で実施

【放課後子供教室】(H19～)

- 全ての就学児童が放課後を安心・安全に過ごすため、活動拠点(居場所)を確保し、多様な体験・活動を行う。

<H27取組>

- ・ 61市町村で実施

【土曜日の教育支援体制等構築事業】(H26～)

- 子どもにとって、より豊かで有意義な土曜日を実現するため、地域の多様な人材や企業等の豊かな社会資源を活用した体系的・継続的なプログラムを企画・実施する。

<H27取組>

- ・ 44市町村で実施

3 地域人材を派遣する取組

学校サポーター派遣事業 ～国の「補習等のための指導員等派遣事業」を活用～

【内容】各学校の補充的学習等へボランティア登録した学校サポーターを派遣 (道教委は旅費支給)

【取組】派遣市町村数 81市町村
派遣者数延べ 1,175名
登録学生ボランティア数 1,532名
登録社会人ボランティア数 33名

※学生ボランティア派遣前研修(札幌、旭川、函館、釧路)約200名参加